

2012年10月31日
マツダ株式会社

**2013年3月期 第2四半期 決算発表
主な質疑応答**

1. 中国の状況について教えてください。

現時点、中国では、販売・生産状況が厳しい状況となっています。
販売状況では、10月以降、販売店では、通常通りの営業を行っていますが、ディーラーの集客、受注の回復は、現段階、スローな状態が続いています。この販売状況が、何時まで継続するかは現時点不透明であり、今後の対応については、状況に応じた対策を実施したいと考えています。また、この販売状況に合わせて、南京工場では、10月後半より、昼勤1直の操業にいたしました。この販売台数及び台数減に伴う損益影響については、今回の業績見通しに織り込んでいます。短期的には厳しい状況が続いていますが、一方、将来に向けた取り組みは前進しています。CFMAの再編計画については、今後、早期の分割及び新会社の設立を目指してまいります。中国市場は、引き続き、マツダにとって、最も重要な市場の一つであり、これからも、2つのパートナーと共に、生産・販売に注力してまいります。

2. 営業利益は50億円の下方修正を行ったのに、経常利益以下の据え置きを教えてください。

営業利益は、中国の販売減を見込んで、50億円の下方修正を行いました。一方、経常利益以下は、営業外損益の改善を見込んでいます。主に、タイなどの持分法利益の改善や、その他営業外費用の改善に加え、下期に為替差益を見込んでいます。

3. 上期は、想定以上の円高、台数減となりましたが、期初見通しを上回る黒字となりました。この要因を教えてください。

上期は、期初見通しから中国を中心に台数が減少し、また、円高も継続いたしました。その中で、フル SKYACTIV 搭載車両の第一弾、新型 CX-5 がグローバルで大ヒットし、台数・構成の改善に大きく貢献してくれています。また、変動費、固定費などのコストも予想を上回る改善に貢献し、見通しを上回る利益を達成する事ができました。

###